

【教育講演 2】

地域のニーズに対応したリハアプローチの工夫

金沢医科大学 医学部 リハビリテーション医学科 影近謙治

リハビリテーションを実施する上で、患者家族のニーズを優先することは言うまでもない。しかしその実施が困難なケースもあり妥協してしまう場合もある。地域におけるリハサービスはそれぞれ地域により特性をもって対応しているが、リハチームとして急性期から終末期にいたる連携は大切なことであり、単に情報の連絡に終わるのではなく協働しフィードバックできる連携を実践することが重要である。そうした現状の中でのわれわれの取り組みをご紹介します。